

# ベラルーシ公開情報とりまとめ

(1月22日～1月28日)

2024年2月2日  
在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

- 元政治犯及び政治犯の親族に対する大規模捜査(1月23日)
- 2023年12月の平均所得は約714.4米ドル(1月25日)
- ベラルーシ・露首脳会談(1月28日)

## 【ルカシェンコ大統領動静】

### ●高官人事

・アレクサンドル・ホドジャエフ保健大臣(共和国精神衛生科学・実践センター前センター長)  
(1月25日 国営ベルタ通信)

### ●ベラルーシ・露首脳会談

・プーチン露大統領は、両国の貿易高が、2023年1月から10月までで425億米ドルにのぼり、露がベラルーシに40億米ドルを投資した等の両国の経済関係の発展だけでなく、農業、科学、教育、文化の分野でも協力が進んでいる旨強調。さらに、「特別軍事作戦」の詳細につきルカシェンコ大統領に報告する旨発言。  
・ルカシェンコ大統領は、ナチスによるレニングラード包囲からの解放80周年記念行事に関して、ウクライナが参加しないことは残念である旨述べた上で、ウクライナはいずれベラルーシ・露の側に戻ってくるだろうと強調。  
(1月28日 大統領府)

## 【外交】

### ●アレイニク外務大臣の、ベラルーシ・中国国交樹立32年記念行事での演説

アレイニク外務大臣は以下のとおり演説。  
・1992年以来、中国との貿易高は140倍以上に成長した。中国・ベラルーシ産業特区「巨石」は、「一帯一路」実現のための重要な支柱となっており、既に14か国から121の企業が参入している。  
・2024年には、両国の共同での尽力により、相互の貿易額が過去最高を更新し、ベラルーシ製品の輸出、サービス貿易、投資誘致の前向きな傾向が続くと確

信している。

(1月23日 国営ベルタ通信)

### ●ベラルーシは、第154回WHO執行理事会にて、医薬品の調達停止に苦言

・ベラルーシは、「西側の違法な制裁は、ベラルーシへの医薬品や医療機器の調達に問題を引き起こし、それによって国家の支援に依存する最も弱い立場にある人々に被害を与えている」と表明。  
(1月25日 外務省)

### ●ベラルーシ在住ロシア人は、ミンスク市及び各州の中心都市で露大統領選挙に投票可

(1月25日 国営ベルタ通信)

### ●クブラコフ内務大臣一行のジンバブエ訪問(1月24日～26日)

・ムナンガグワ大統領、カゼンベ内務・文化遺産大臣と会談。  
・両国法執行機関の間の協力に関する覚書に署名。  
(1月26日 国営ベルタ通信)

●ポーランドは、1月26日以降ポーランド・ビジネス・ハーバー査証(PBH)のベラルーシ人への発給を停止  
・在ミンスク・ポーランド総領事館は、同措置がとられていることを認めた上で、理由は説明できないと回答。  
・同査証は、IT関係者及びその家族に対して発給されていた。

(1月26日 「ゼルカロ(鏡)」)

## 【内政】

### ●国外在住ベラルーシ人はミンスクでのみ下院選挙に投票可

(1月23日 中央選挙管理委員会)

### ●1月26日現在の政治犯の数は1,418人

(1月26日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

## 【軍事・安全保障】

### ●ダヴィドヴィチ空軍・防空軍副司令官は、年初以降、ベラルーシ国境付近で NATO の動きが活発化している旨発言

・同副司令官によれば、年初より、NATO 軍のみならず、NATO 加盟国の空軍による偵察飛行の数が倍増している。

・同副司令官は、NATO 諸国の空軍の偵察飛行の目的として、「第一に、いかなる戦闘訓練活動をも監視することであり、ベラルーシ領内での部隊の動きを監視することである可能性もある。第二に、NATO 諸国、すなわちベラルーシの近隣諸国が現在受け取っているすべての諜報による情報は、ウクライナ軍の利益のために使用されることを、我々は完全に理解している」と述べた。

(1月28日 国営「首都テレビ(STV)」、国営ベルタ通信)

### ●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(1月22日～1月28日)

- ・リトアニア国境では不法越境の試みは確認されず。
- ・ラトビア国境では不法越境の試みは確認されず。
- ・ポーランド国境警備隊は少なくとも25人を阻止。

(1月23日～1月29日 Pozirk)

## 【治安・犯罪】

### ●元政治犯及び政治犯の親族に対する大規模捜査

(1)大規模捜査の実施

・1月23日、元政治犯及び政治犯の親族130人以上に対し、捜査が行われた。捜査を受けた人々の多くは釈放されたが、拘束された人々もおり、被拘束者の状況は不明。

・捜査対象には、元政治犯及び政治犯の家族による非公開チャットのメンバーや、「過激主義組織」である「INeedHelpBY」プロジェクトの支援を受けた人々も含まれていた。

(2)捜査に対する反応

・チハノフスカヤ民主勢力代表は、国際社会に対してこの悪事に断固とした対応をとるよう呼びかけた。

・ポーランド外務省は、「X」において、「ベラルーシ当局がかつての良心の囚人や政治犯の家族を大量に拘束していることに対し、断固とした対応が必要である。ベラルーシに対するさらなる制裁パッケージを、できるだけ早く採択すべき」と投稿。

(1月23日「ゼルカロ(鏡)」、24日「dissident.by」、25日 ポーランド外務省「X」)

### ●2023年にポーランドで犯罪を犯したベラルーシ人は1,030人

(1月25日 Pozirk)

## 【経済】

### ●2023年12月の平均所得は約714.4米ドル

・2023年12月の平均所得は、2,271ルーブル(約714.4米ドル相当)

・各州及びミンスク市の平均所得は以下のとおり。

	ルーブル	米ドル相当額
ブレスト州	2,025.2	637.1
ヴィテプスク州	1,861.8	585.7
ゴメリ州	1,970.4	619.8
グロドノ州	1,980.3	622.9
ミンスク州	2,246.8	706.8
モギリョフ州	1,810.4	569.5
ミンスク市	3,240.2	1019.3

・主な職種別の平均所得は以下のとおり。

	ルーブル	米ドル相当額
情報通信部門	6,590.8	2,073.4
金融・保険	4,226.8	1,329.7
専門・科学技術	3,097.2	974.3
建設	2,494.1	784.6
工業	2,479.5	780.0

運輸・物流	2,239.1	704.4
卸売・小売、自動車・バイク修理	2,064.5	649.4
不動産業	2,003.8	630.3
保健、社会サービス	1,882.5	592.2
創造的活動、スポーツ、娯楽、レクリエーション	1,695.7	533.4
その他サービス	1,651.9	519.6
農業、林業、水産業	1,648.2	518.5
宿泊及び飲食業	1,593.5	501.3
行政、支援サービス	1,500.1	471.9
教育	1,481.3	466.0

(1月25日 国家統計委員会)

一時滞在 約4万9,900人 約4万1,500人  
(1月25日 法律ポータル、Pozirk)

●ベラルーシの大学で学ぶ外国人留学生の増加

・ベラルーシの大学における外国人留学生は、2018年度には2万3,800人だったが、2022年度は2万9,700人に増加(24.8%増)。  
(1月25日 法律ポータル、Pozirk)

●就業率の低下

・2023年の就業者数は414万100人で、前年比400人減少。  
(1月26日 国家統計委員会)

●2023年にベラルーシで登録された麻疹の発症は190件以上

(1月26日 「リダ TV」、Pozirk)

(了)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表の動向

(1)ランズベルギス・リトアニア外務大臣との会談(1月23日)

・チハノフスカヤ氏は、ベラルーシ人とロシア人に対する制限を同等にしなければならないと強調。

(2)欧州評議会議員会議(PACE)にて政治犯の状況等につき演説(1月25日)

(1月28日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

【その他】

●2023年に米国の査証を申請したベラルーシ人のうち、32.8%が申請拒否(前年は26.05%)

(1月25日 米国国務省、「ゼルカロ(鏡)」)

【統計等】

●ベラルーシに滞在する外国人の減少

・ベラルーシに滞在する外国人は2018年と2023年上半期を比較し、1万3,000人減少。内訳は以下の通り。

	2018年	2023年上半期
永住者	17万3,000人	16万8,000人
	以上	以上